

分科会開催報告書

報告日 令和 4年 8月 12日 (月)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第一学習 参勤交代 (松平春嶽) ⑪
開催日時 令和 4年 8月 10日 (水) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 7名 女 2名 合計 9名 欠席者 5名	
<p>江戸城参勤による将軍拝謁の大名等はその石高、官位、役職等により格付けされ、大名家にとって拝謁の席次・序列が家格を示すものとしてその維持・向上に最大限の努力をした。</p> <p>拝謁は「黒書院」で行われ、詰の間トップの「溜間」や「大広間席」大名のお目見えが済むと「帝鑑の間詰」（主に譜代大名）・「柳の間詰」（主に外様大名）の順番となり徐々に家格が下った。</p> <p>拝謁は将軍が「それえ！」と声をかけると御用番の老中が「誰々は有難く申しております」と代理返事をして儀式を終え定型化されていた。</p> <p>文久の改革は文久2年（1862年）に勅使「大原重福」と護衛の島津久光の参府要求でなされた一連の人事・職制・諸制度の改革で、ポイントは慶喜の将軍後見職・松平春嶽の政事総裁職就任と参勤交代制度の改革（江戸と国許の隔年往復から3年に一度且つ正妻・嫡子の帰国自由が骨子）であり、これにより譜代老中の幕府政治から在京の慶喜・春嶽と朝廷政治に変わった。</p> <p>その後紆余曲折を経て、二条城での「大政奉還」により参勤交代制度は消滅した。</p>	
次回予定 令和4年8月25（木）10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第二学習 吉宗と尾張藩主宗春の角逐⑤	